

2024年3月12日

お客様各位

オーエヌ工業株式会社

NJ-X とナイスジョイントの比較について

拝啓、貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを頂き厚く御礼申し上げます。

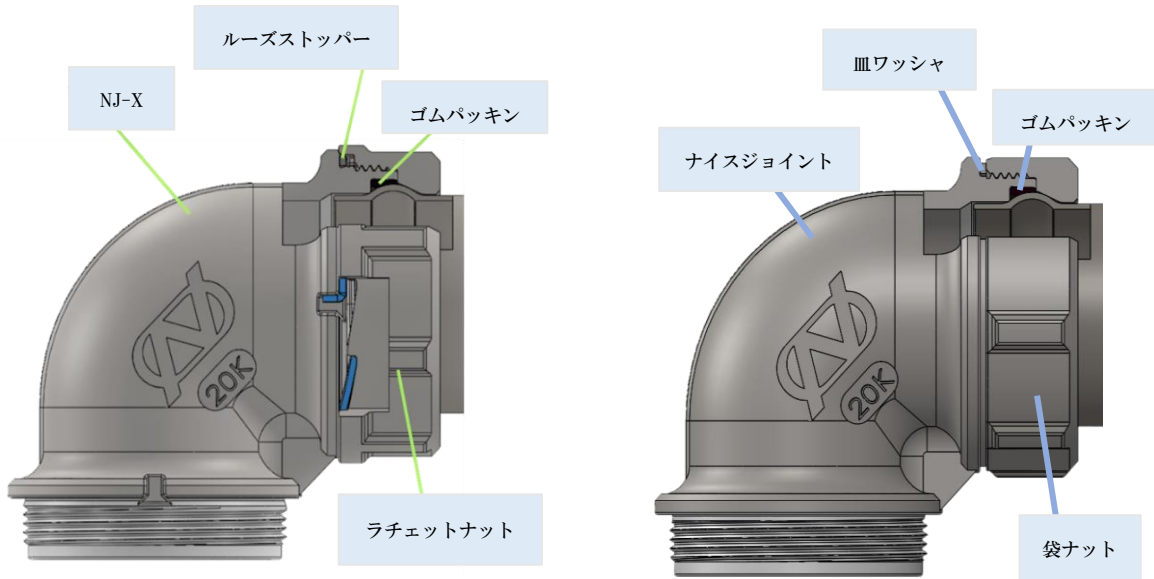
首記の件につきまして、下記の通りご報告いたします。

よろしくご査収いただきますようお願い申し上げます。

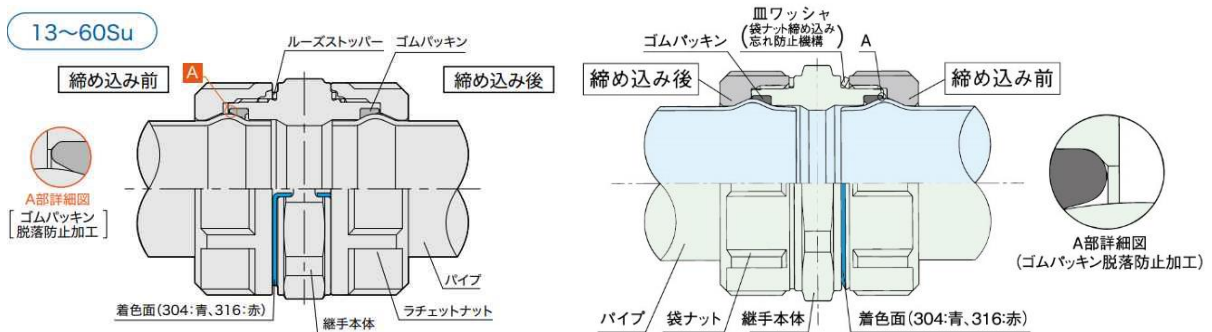
敬具

記

1. 継手の外観の違い（エルボ）



2. 接続部の構造



NJ-X 接続部の構造

ナイスジョイント接続部の構造

3. ナイスジョイントから NJ-X の部品変更点

- ・袋ナット→ラチェットナットへ変更



※左側がラチェットナット(NJ-X)、右側が袋ナット(ナイスジョイント)

- ・皿ワッシャ→ルーズストッパーへ変更



※左側がルーズストッパー(NJ-X)、右側が皿ワッシャ(ナイスジョイント)

- ・継手本体にルーズストッパーを引っ掛ける切り欠けを追加

4. NJ-X の施工完了について

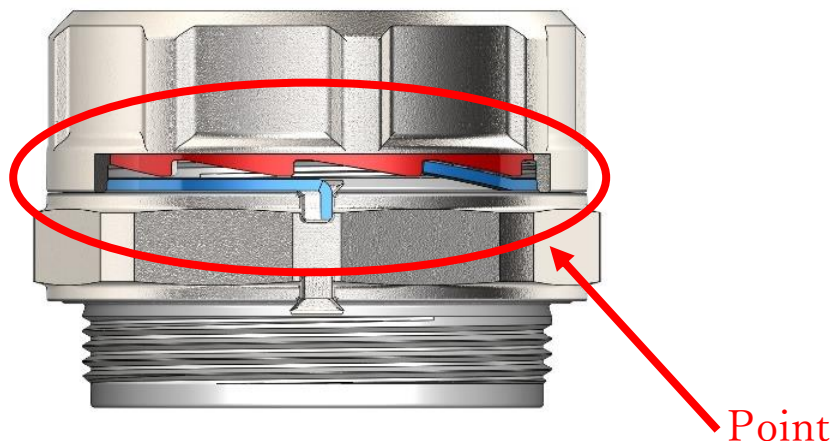


パイプレンチを使用して、ラチェットナットをそれ以上締まらなくなる迄締め付けて下さい。
このときルーズストッパーがラチェットナットに隠れます。

5. NJ-X の製品特徴

1) 性能機能の更なる向上 (アンチローテーションシステム(緩み止め機能)の追加)

従来のナイスジョイントと変わらない工法・シール性能を確保したまま、アンチローテーションシステムを新たに追加し、更なる信頼性を確保しました。



※ラチェットナットのギア部とルーズストッパーが引っ掛かりアンチローテーションシステムを発揮

2) 徹底した互換性による安心感 (従来のナイスジョイント用袋ナットの対応)

多くの現場でご採用頂いているナイスジョイントとの互換性を追求し、改修工事においてもそのまま使用できるよう、ナイスジョイントの袋ナットを再利用できるようにしました。



※改修工事でナイスジョイントの信頼性はそのままに既存の袋ナットを再利用して頂けます。
袋ナットを従来通りの作業要領で施工してそれ以上締め込まなくなる迄締め付けてください。
この時ルーズストッパーのストレート側の先端が圧接され跳ね上がりなくなります。
ルーズストッパーのベンディング部が継手本体の溝に引っ掛かっている事を確認してください。
締め込み確認として継手端面とルーズストッパー、袋ナット端面が確実に密着している事を確認してください。

3) ニーズに応える満足度の充実（発光機能による施工確認）

お客様のニーズが多かった、暗所での確認を容易にするブラックライト照射による発光機能を搭載。今まで以上に狭所・高所等の点検が困難な場所でも、締込み確認が一目瞭然で判断ができます。

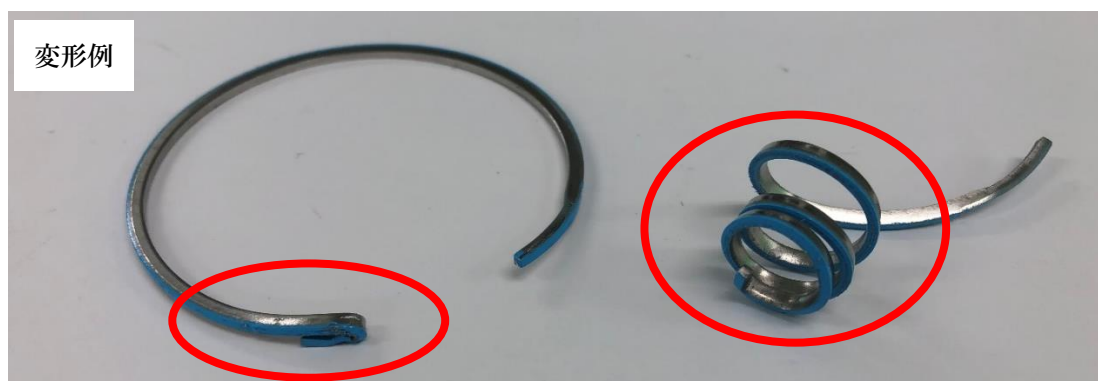


※締込み不足の際はブラックライト照射でルーズストッパーが発光。
(注)製品にブラックライトは付属しておりません。

6. NJ-X の再施工について

パイプレンチを使用してラチェットナットを緩み方向に回転させることで、ルーズストッパーが変形・離脱し、継手本体とラチェットナットを分解することが可能です。

※再施工時にルーズストッパーを交換していただくことで再び緩み止め機能が発揮します。



※ルーズストッパーの変形形状は一定ではございません。

一度使用したルーズストッパーや変形したルーズストッパーは再使用できません。

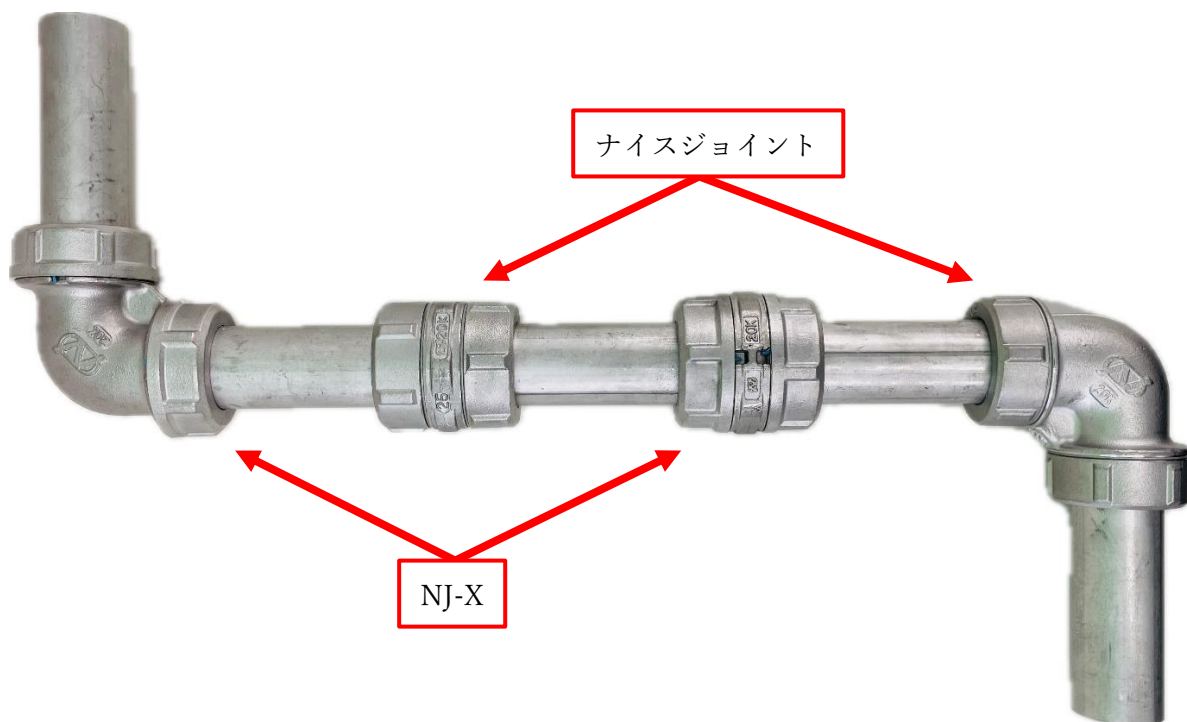
(上記以外の変形形状もございます)

7. 従来のナイスジョイントから変更していない点

- 1) 拡管機は従来の拡管機をそのまま使用可能。
- 2) 袋ナットと皿ワッシャの変更のみの為、部品点数に変更なし。
- 3) 止水構造に変更なし。
- 4) 締込みは従来と同じパイプレンチを使用。
- 5) 従来の芯引き寸法から変更なし。
- 6) 従来の施工手順から変更なし。

8. NJ-X とナイスジョイントの混在可能

前項の通り NJ-X とナイスジョイントは面間を含め、施工上変わりない設計としている為、配管内での混在を可能としており、混在の現場においても従来のナイスジョイントの性能・機能を十分発揮できる仕様となっております。



以上